

臨床研修医へのメッセージ

株式会社日立製作所ひたちなか総合病院
副院長兼循環器内科主任医長 研修責任者
山内 孝義

進化し続けるひたちなか総合病院へようこそ！

当院は人口 15 万人を擁するひたちなか市唯一の総合病院であり、地域の基幹病院として主に急性期医療、高度専門医療を担っています。1940 年にたった 1 名の医師で診療所として始まった当院も、約 70 年間その診療機能、教育機能は進化を続け、2010 年 7 月には満を持して高機能病院としてリニューアルオープンし、2011 年 4 月からは筑波大学との社会連携講座も開設して、大学病院並みの教育機能も加わりました。臨床研修病院としての歴史も古く、基幹型・協力型合わせて、今まで延べ 100 名以上の新制度の研修医が当院で研修しています。このように進化は続けていますが、地域中核中規模病院の良き伝統として、各専門科だけで独自の診療をするのではなく、1 人の患者さんに全科がかかわる総合診療科的色彩があります。研修医の指導も、各専門科の指導医のみでなく、全科の指導医がかかわっていく特徴があり、将来どの専門科に進むにしても必要な、幅広い視点が身につきます。当院の研修の特徴を列記します。1、中規模病院であるため、医療や各科の全体像が見えやすく、目的意識を持った将来の選択に役立つ。また、アットホームで研修医の自由度が高い。2、日本で最初に ISO9001:2000 を取得した病院であり、病院内全職種によるカンファレンスを中心としたチーム医療を推進しており、各職種間の連携が良い。3、筑波大学の社会連携教育研究センターが院内に開設されており、魅力にあふれた常勤の大学教官から大学病院並みの専門教育が受けられる。4、訪問看護ステーション、健診センターなどを有しており、在宅医療、疾病予防活動などにつき研修できる。5、企業立病院であり、産業医活動も学べる。6、自由選択科目があり、院内各科はもとより、筑波大学、東京医科歯科大学でも選択研修可能で、自分で研修計画を立て、将来の専門科選択につなげることができる。7、後期研修に関しては、当院独自の後期研修制度がある他、VHJ 機構（当院の他、亀田総合、倉敷中央など有名市中病院が加盟）で運営する後期研修制度に参加しており、国内留学できる。その他、筑波大、東京医科歯科大など進路は大きく開けている。

当初は手探りだった当院の研修システムも、多くの初期研修医を受け入れながら進歩を遂げつつあります。従来からの実績のある総合的なプログラムを残しつつ、初めからより専門性の高い研修にも対応できるようなプログラムも昨年より新設しました。学生実習から初期、後期研修一貫した研修目標は「コミュニケーションできる医師」です。「コミュニケーション」の中核は患者さんの病態を的確に相手に伝えられる能力です。今後の医療をめぐる環境の変化は激しいと思われませんが、しっかりと、自分の目でものを見て、そこから論理的に判断する姿勢、自分で主体的に学び取っていく姿勢を身に付け、患者さんや自分自身の問題を解決できる能力が獲得できるように、一緒に勉強して成長しましょう。